

公募型プロポーザル方式に係る手続開始の公告

次のとおり公募型プロポーザル方式による契約相手方特定の手続きを開始します。

平成31年 1月 7日

宮城県仙台土木事務所長

1 業務概要

- | | | | |
|----------|--------------|----|-----------------------|
| (1) 業務名 | 広瀬川外河川管理業務委託 | | |
| (2) 業務内容 | 河川巡視工 | N= | 8回 |
| | 河川点検工（陸閘操作） | N= | 2回 |
| | 堤防除草工 | A= | 230,000m ² |
| | 伐木除根工 | N= | 2箇所 |
| | 清掃工 | N= | 6回 |
| | 漏油処理工 | N= | 1回 |
| | 堆積土砂撤去工 | V= | 10m ³ |
| | 管理用通路補修工 | A= | 20m ² |
| (3) 履行期限 | 平成32年3月27日 | | |

2 その他

参加資格など公募型プロポーザル方式に係る詳細については、広瀬川外河川管理業務委託公募型プロポーザル方式募集要項によるものとする。

広瀬川外河川管理業務委託
公募型プロポーザル方式募集要項
〈平成30年度〉

1 目的

この要項は、地域の安全安心を守るために、地域に密着した持続性のある河川維持管理体制を確保するため、「広瀬川外河川管理業務委託」において、公募型プロポーザル方式（以下「プロポーザル」という。）により業務受託者を募集する際の手続きについて必要な事項を定める。

2 委託業務の概要

(1) 業務名

広瀬川外河川管理業務委託

(2) 業務場所

一級河川名取川水系広瀬川外 仙台市青葉区八幡五丁目地内外

(3) 業務内容

「広瀬川外河川管理業務委託（以下「本業務」という。）は、仙台土木事務所管内の次に掲げる河川等の維持管理業務とする。

| | | |
|--------------|----|-----------------------|
| ・河川巡視工 | N= | 8回 |
| ・河川点検工（陸閘操作） | N= | 2回 |
| ・堤防除草工 | A= | 230,000m ² |
| ・伐木除根工 | N= | 2箇所 |
| ・清掃工 | N= | 6回 |
| ・漏油処理工 | N= | 1回 |
| ・堆積土砂撤去工 | V= | 10m ³ |
| ・管理用通路補修工 | A= | 20m ² |

なお、詳細については、「広瀬川外河川管理業務委託仕様書（素案）」のとおりとする。

(4) 履行期間

契約の翌日から平成32年3月27日までとする。

(5) 業務の規模

本業務は、過年度実績を参考とし、概算額は35百万円（税込）を想定している。これを当初の委託上限額とする。

3 参加資格等

本業務のプロポーザルは、単体企業、「事業協同組合、協業組合」（以下「組合」という。）又は地域維持型建設共同企業体のいずれかにより参加することができる。参加する単体企業、組合又は地域維持型建設共同企業体は、公告日から参加表明書提出時までの間、以下の要件を満たしていなければならない。

- (1) 宮城県から建設工事執行規則（昭和39年宮城県規則第9号）第4条第1項の規定に基づく平成29・30年度建設工事競争入札参加登録を受けている業者、又は地域維持型建設共同企業体の登録を受けている企業体であること。
- (2) 単体企業、又は地域維持型建設共同企業体は、登録業種が「土木一式工事」で「S等級」の宮城県入札参加資格（以下「入札参加資格」という。）を有する者で、仙台土木事務所管内に本社（本店）を有し、10年以上所在する者とする。
- (3) 組合は、登録業種が「土木一式工事」で「S等級」の入札参加資格を有する構成員が含まれている者で、構成員のうち二分の一以上が仙台土木事務所管内に本社（本店）が10年以上所在する者であること。

- (4) 各構成員等が、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しないこと。（被補助人、被保佐人又は未成年者であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は除く。）
- (5) 各構成員等が、入札期日において、会社更生法（平成14年法律第154号）又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき更生手続等開始の申立てをしていないこと若しくは銀行取引停止となっていないこと。（別に定めるところにより、入札参加登録に係る総合評点及び等級格付の再評価を受けた場合を除く。）
- (6) 各構成員等が、本県の建設工事入札参加登録業者等指名停止要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
- (7) 各構成員等が、本県の入札契約暴力団等排除要綱別表各号に規定する措置要件に該当しないこと。
- (8) このプロポーザルに関し、地域維持型建設共同企業体や組合が参加した場合は、当該構成員は単体での参加や他の地域維持型建設共同企業体や組合の構成員となることはできない。
- (9) 本業務期間中においては、本土木事務所管内に主任技術者（建設業法第26条に規定する「主任技術者」又は「監理技術者」をいう。以下同じ。）を専任で常時1名以上配置できる者であること。（専任で常時配置できる主任技術者の名簿は、提出書類（様式4-1「予定主任技術者の経験及び資格」）によるものとする。）
- (10) その他、宮城県知事が定める要件を満たしている者であること。

4 提案課題、評価項目・配点

評価項目・配点は、下表のとおりとする。

| 評価項目 (配点) | 評価の着目点 | | 判断基準 | 配点 |
|---------------------|----------------------------|--|--|--|
| 配置する技術者の評価 (20点) | 主任技術者 ※複数配置の場合、評価が高い技術者 | 技術者が有する資格 (10点) | 以下の順位で評価する。 ①1級土木施工管理技士 ②1級建設機械施工技士 ③2級土木施工管理技士 ④2級建設機械施工技士 ※上記以外は評価しない (様式4-1「予定主任技術者の経験及び資格」) | 10 8 6 4 0 |
| | | 過去10年間の河川・砂防施設に係る維持管理業務の実績 (10点) ※現場代理人または主任技術者として、元請けとして従事した実績を対象とする。 ※地域維持型建設共同企業体及び組合は構成員の実績も可とする。 | ① (同種実績) 仙台土木事務所発注の河川・砂防施設に係る維持管理業務の従事実績がある ② (類似実績) 宮城県発注の県内の河川・砂防施設に係る維持管理業務の従事実績がある ③ 実績なし (様式4-1「予定主任技術者の経験及び資格」) | 10 5 0 |
| | | 企業評価 (20点) | 企業の同種工事の経験 過去10年間の河川・砂防施設に係る維持管理業務の実績 (10点) ※地域維持型建設共同企業体及び組合は構成員の実績も可とする。 | ① (同種実績) 仙台土木事務所発注の河川・砂防施設に係る維持管理業務の受注実績がある ② (類似実績) 宮城県発注の県内の河川・砂防施設に係る維持管理業務の受注 |

| 評価項目 (配点) | 評価の着目点 | | 判断基準 | 配点 |
|--------------------------|--|---|--|----------------------|
| | | | 実績がある ③ 実績なし (様式4-2「企業の経験及び資格」) | 0 |
| | 県内での災害 時における地 域貢献の実績 | 防災協定締結の有無 (10点) ※地域維持型契建設共同企業体及び 組合は構成員の実績も可とする。 ※所属する団体が防災協定を締結し ている場合には当該団体に加入して いけば可とする。 | ① 県との防災協定あり(配備体制等含む))かつ仙台土木事務所管内に本社・本 店あり ② 県との防災協定あり(配備体制等含む)) ③ 防災協定なし (様式4-2「企業の経験及び資格」) | 10 5 0 |
| 特定テーマに 対する提案 (60点) | テーマ1 「実施体制、緊急時の体制及 び対応」 発注者との連絡体制および受注者内 の連絡体制、作業実施確認、役割分担が 的確となっているか。 ①明確な指揮系統・迅速な対応力 (10点) ②緊急時の確実な対応力(10点) | | 発注者との連絡体制や連絡すべき内 容やタイミングに関する提案がある場 合に評価する。 通常時、緊急時の連絡体制に具体性が ある場合に評価する。 作業実施状況の確認方法が具体的か つ異常時の場合の対処方法の記載があ るがある場合に評価する。 緊急時の初動体制に具体性がある場 合に評価する。 (様式5-1「特定テーマ1」) | 20 |
| | テーマ2 「地域特性の理解度」 地域特性を把握し、具体的かつ効果的 な提案であるか。 ①地域課題の把握(10点) ②地域住民の視点を持った工夫 (10点) | | 業務対象となる河川(施設)について 、地域特性に応じた課題を把握してお り、課題に対応した手法が提案されて いる場合に評価する。 近隣住民の視点からの工夫がある場 合に評価する。 (様式5-2「特定テーマ2」) | 20 |
| | テーマ3 「業務実施上の工夫等」 業務実施上の留意点と工夫について 具体的な提案があるか。 ①安全確保への配慮(10点) ②品質確保・効率化等(10点) | | 業務を実施する上で留意する点につ いて具体的な提案がある場合に評価す る。 危険な事象の抽出および対処方法(安 全管理方法)の提案がある場合に評価 する。 河川維持管理に関する効率化を図る 点について具体的な提案がある場合に 評価する。 (様式5-3「特定テーマ3」) | 20 |
| 参考見積 | | | ※総額を(様式4-3)に記載すること。 | — |

計100点

5 手続等

(1) プロポーザルの日程

| 日程 (予定) | 内容 |
|--|----------------------------------|
| 平成31年 1月 7日 (月) | 公告、募集要領の公表 |
| 平成31年 1月 7日 (月) から 平成31年 1月15日 (火) まで | 質問の受付 |
| 平成31年 1月18日 (金) から 平成31年 1月22日 (火) まで | 回答書の閲覧等 |
| 平成31年 1月 7日 (月) から 平成31年 2月 4日 (月) まで | 参加表明書の提出受付 |
| 平成31年 2月 5日 (火) から 平成31年 2月 6日 (水) まで | 企画提案書の提出受付 |
| 平成31年 2月 7日 (木) から 平成31年 2月15日 (金) まで | 資格審査及び企画提案書評価 ※必要に応じてヒアリングを実施 |
| 平成31年 2月21日 (木) | 審査結果の通知、公表、参加資格不可の通知 |

(2) 事務担当

仙台市宮城野区幸町四丁目1番2号
宮城県仙台土木事務所総務部経理班
電話番号 022-297-4112
ファクシミリ 022-296-1516
電子メール sddbkkkr@pref.miyagi.lg.jp

(3) 手続開始の公告等

手続開始については、宮城県仙台土木事務所ホームページ入札関連
(<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/snd-doboku/kyoninka-nyuusatu.html>) に掲載する。

(4) 募集要項等の配布方法及び期間について

配付方法

応募に必要な書類は、宮城県仙台土木事務所ホームページ入札関連入札情報
(<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/snd-doboku/kyoninka-nyuusatu.html>) に掲載する。

配付期間

平成31年1月7日 (月) から平成31年2月4日 (月) の17時までとする。

(5) 業務内容の閲覧

閲覧場所

業務仕様書の閲覧場所は、下記に示すとおりとする。

仙台市宮城野区幸町四丁目1番2号

宮城県仙台土木事務所図書閲覧コーナー (1階)

又、仙台市宮城県仙台土木事務所ホームページ入札関連入札情報

(<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/snd-doboku/kyoninka-nyuusatu.html>) にも掲載する。

閲覧期間

平成31年1月7日 (月) から平成31年2月4日 (月) まで (土曜日、日曜日及び祝日は除

く。)の9時から17時までとする。

6 不明な点がある場合の質疑について

(1) 質問書(様式1)の受付期限並びに提出場所及び方法

質疑事項がある場合、質問書(様式1)を用い、平成31年1月15日(火)17時まで、上記5の(2)に持参又は郵送、ファクシミリ又は電子メールで提出すること。なお、ファクシミリ又は電子メールによる場合は、必ず電話で送信確認すること。郵送による場合は、受付期限内に必着とする。

(2) 質問書に対する回答期限及び回答方法

平成31年1月18日(金)までに、質問回答書(様式2)を宮城県仙台土木事務所ホームページ(<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/snd-doboku/kyoninka-nyuusatu.html>)に掲載する。

7 参加表明書(参加申込書)について

(1) 参加表明書の提出期限並びに提出場所及び方法

平成31年2月4日(月)17時まで、上記5の(2)に1部持参してください。

なお、上記の提出期限以降における内容変更及び再提出は認めない。

(2) 参加表明書の作成について

- ① 参加表明書は「11 各種様式」の様式-3、様式4-1から4-3により作成する
- ② 参加資格を確認できる書類を添付すること。(地域維持型建設共同企業体の場合は、協定書の写しを添付、組合の場合は定款、構成員名簿、事業計画書等の写し等を添付)

8 企画提案書について

(1) 企画提案書の提出期限並びに提出場所及び方法

平成31年2月6日(水)17時まで、上記5の(2)に5部持参してください。

- ① 企画提案書の提出は、応募者ごとに1案のみとする。
- ② 上記の提出期限以降における企画提案書の内容変更及び再提出は認めない。

(2) 企画提案書の作成について

- ① 企画提案書は、「11 各種様式」の様式5-1から5-3により作成する。
 - ア 片面使用、横書きとする。
 - イ 特定テーマ1~3については、それぞれA4版1頁に簡潔に記載すること。
 - ウ 文書を補完する図表、写真等を使用することも可とする。

9 審査及び業務委託候補者の特定並びに契約の相手方の決定

審査は、次の各号の定めるところによる。

- (1) 審査は、4に定める評価項目を用いて、提案書類等の評価を行い、業務委託候補者を決定する。
- (2) 必要に応じて、配置技術者のヒアリングを実施し、その回答や提案を配置技術者本人が十分理解しているか評価する。ヒアリングを実施する場合は別途通知する
- (3) 業務委託候補者には、随意契約により当該業務を委託する。
- (4) 審査結果については、企画提案書提出者全員に通知するとともに公表する。
- (5) この手続きに参加した者が、10の失格条項等に該当する場合は、その者とは契約の締結は行わない。なお、この場合は、次点の者を業務委託候補者とする。
- (6) 予算については、平成31年2月に開会される宮城県議会定例会において平成31年度宮城県一般会計予算の議案の議決の状況により変更する場合がある。

10 失格条項等

次の各号の一つに該当する場合は失格とする。

- (1) 提案書類等が、提出方法、提出先、提出期限に適合しないもの。
- (2) 提案書類等が、様式及び本要項に示された条件に適合しないもの。
- (3) 提案書類等に記載すべき事項の全部又は一部が記載されていないもの。
- (4) 提案書類等に記載すべき事項以外の内容が記載されているもの。
- (5) 提案書類等に虚偽の内容が記載されているもの。
- (6) 本要項に定められた以外の手法により、選定委員又は関係者にプロポーザルに対する援助を直接的、間接的に求めた場合。

11 各種様式

様式は以下のとおりとする。

- | | |
|----------------------|-----------|
| ① 質問書 | 様式1 |
| ② 質問回答書 | 様式2 |
| ③ プロポーザル参加表明書（参加申込書） | 様式3 |
| ④ 予定主任技術者の経験及び資格 | 様式4-1 |
| ⑤ 企業の経験及び資格 | 様式4-2 |
| ⑥ 実施体制及び参考見積 | 様式4-3 |
| ⑦ 特定テーマの提案書（企画提案書） | 様式5-1～5-3 |

12 その他

- (1) 提案書類等に記載された個人情報には本業務においてのみ使用するものとし、本人の同意を得ずに第三者に開示することはない。
- (2) 提出された提案書類等の返却が必要な場合は提出時に申し出ること、それ以外の場合は返却しない。
- (3) 企画提案書の作成及び提出に要する費用は提出者の負担とする。
- (4) 提出された提案書類等は審査及び説明の目的にその写しを作成し使用することができるものとする。
- (5) 審査の公平性、透明性及び客観性を期すため、選定結果については参加者名を公表することを原則とする。また、業務委託候補者以外の者が選定されなかった理由について説明を求めた場合には、その者の取得点数を説明することとするが各配点者（選定委員）の配点は非公開とする。
- (6) 契約締結後において、主任技術者は、病気、事故、退職等やむを得ない事情がある場合を除き、原則変更は認めない。やむを得ない事情により変更する場合は、同等以上の資格・実績を有する技術者を配置しなければならない。
- (7) 参加申込書等に基づく履行が出来なかった場合は、契約の解除などの措置を行う場合がある。

「11. 各種様式」

(様式1)

質 問 書

平成31年 月 日

宮城県仙台土木事務所 経理班 宛

住 所 _____

提出者事業所名 _____

質問に対する責任者名 _____

電話番号 _____

広瀬川外河川管理業務委託について、次の項目を質問します。

| 質 問 事 項 |
|---------|
| |

(様式2)

仙 土 第 〇 〇 〇 号
平成 3 1 年 月 日

質 問 回 答 書

プロポーザル提出予定者 様

宮城県仙台土木事務所長

広瀬川外河川管理業務委託について、次の内容を回答します。

| 質問内容 | 回 答 |
|------|-----|
| | |

(事務担当 宮城県仙台土木事務所 経理班 電話022-297-4112)

(様式3)

| |
|------|
| 整理番号 |
| ※ |

※本欄は記入しないでください。

プロポーザル参加表明書
(参加申込書)

平成31年 月 日

宮城県仙台土木事務所長 殿

(提出者) 住 所

電話番号

(ふりがな)

代表企業名

(ふりがな)

代表者名

印

広瀬川外河川管理業務委託に係る業務委託候補者選定のためのプロポーザルの参加申込について、下記のとおり提出します。

記

- | | | |
|---|----------------|-------|
| 1 | 予定主任技術者の経験及び資格 | 様式4-1 |
| 2 | 企業の経験及び資格 | 様式4-2 |
| 3 | 実施体制及び参考見積 | 様式4-3 |
| 4 | その他の書類 | |
- ・参加資格確認のための書類
 - ・技術者の雇用関係を証明できる書類
 - ・地域維持型建設共同企業体は協定書の写し
 - ・組合は、組合の定款、構成員名簿、事業計画書等の写し など

(様式 4-1)

・ 予定主任技術者の経験及び資格

| ふりがな ①氏名 | | ②生年月日 | |
|---|-----|-----------|------|
| ③所属・役職 | | | |
| ④保有資格 当該資格を保有していることを証明する書類（資格者証の写し等）を添付すること。 1 級土木施工管理技士 登録番号： 登録年月日： 1 級建設機械施工技士 登録番号： 登録年月日： 2 級土木施工管理技士 登録番号： 登録年月日： 2 級建設機械施工技士 登録番号： 登録年月日： | | | |
| ⑤過去 10 年間の河川・砂防施設の維持管理業務の実績 業務を担当した事及び業務内容が同種又は類似業務にあたることを証する契約書、業務計画書、特記仕様書、業務報告書等の該当部分の写し等を添付すること。 | | | |
| 業務区分 (同種・類似) | 業務名 | 業務地域または地区 | 履行期間 |
| | | | |
| | | | |

(様式 4-2)

・企業の経験及び資格

ふりがな

① 企業名

② 過去10年間の河川・砂防施設の維持管理業務の実績

業務を担当した事及び業務内容が同種又は類似業務にあたることを証する契約書、業務計画書、特記仕様書、業務報告書等の該当部分の写し等を添付すること。

| 業務区分 (同種・類似) | 業務名 | 業務地域または地区 | 履行期間 |
|-----------------|-------|-----------|------|
| | | | |
| | | | |
| 防災協定の有無 | 協定の内容 | | |
| | | | |

(様式 4-3)

・実施体制（組織体系図を添付すること。）

| 予定技術者 | ふりがな 氏名 | 所属・役職名 | 担当する分担業務の 区間と内容 |
|-------------------|------------|--------|--------------------|
| 現場代理人 | | | |
| 主任技術者 | | | |
| 構成員の連絡担当者 | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 参考見積額 (総額, 税込) | 円 | | |

(様式5-1)

特定テーマ1：「実施体制，緊急時の体制及び対応」発注者との連絡体制および受注者内の連絡体制，作業実施確認，役割分担が的確となっているか。

【明確な指揮系統・迅速な対応力】

【緊急時の確実な対応力】

文字は10.5ポイント以上で簡潔に記載すること。図表を用いることも可。

(様式 5-2)

特定テーマ 2 : 「地域特性の理解度」 地域特性を把握し, 具体的かつ効果的な提案であるか。

【地域課題の把握】

【地域住民の視点を持った工夫】

文字は10.5ポイント以上で簡潔に記載すること。図表を用いることも可。

(様式 5-3)

特定テーマ 3 : 「業務実施上の工夫等」業務実施上の留意点と工夫について具体的な提案があるか

【安全確保への配慮】

【品質確保・効率化等】

文字は10.5ポイント以上で簡潔に記載すること。図表を用いることも可。